

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスばるひよし(児童発達支援)		公表日	令和6年12月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	必要に応じてパーテーションで区切り、活動がスムーズに進むようにしている。遊びを工夫しています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	安全面に配慮した職員配置数になっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	刺激になるような物はなるべくないよう環境を整えている。色々がない状態でも、工夫しながらつくっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	掃除や整理整頓、消毒等もやっている。子供達の興味関心のある遊びを用意している。	
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日のミーティングで情報共有をしたり改善策を話し合ったりしている。記録を書いて振り返りをしたりしている。	
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員全員で共有し、改善点等を共通理解して取り組むようにしている。	
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員全員で共有し、改善点等を共通理解して取り組むようにしている。	
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	毎月1回、勉強会が設けてある。	
適切な支援の提供	9	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	子供の現状と課題、保護者のニーズを照らし合わせながら必要な支援や関わりを考えている。	
	10	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	療育後の伝えの時間等に保護者とコミュニケーションをとったり、職員全員で子供理解に務めたり支援方法について話し合ったりして支援計画を立てている。とにかく、周知する時間がないので、気づきやプランの報告はその都度している。	
	11	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	支援計画を作成し保護者に説明した職員が、他の職員へ情報共有し、どのように支援していくのか確認するようにしている。計画の周知は難しさがあるが、プラン後の伝えや課題の提示、それに伴う支援や課題設定などは広く意見を取り込むようにはしている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	13	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	様式や書き方が変わり悩みながら作成しているが、支援に必要な項目を設定し具体的な支援計画となるよう配慮している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	職員全員で意見を出し合い活動内容を考え決定している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	子供達の発達や興味関心に合った活動内容を考えるようにしている。出来る限り、色々な文献や経験談、様々な職員からのアイデアなど取り込みながら、その時の子どもたちに応じた活動を保証するよう努めている。	
	16	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別の課題と集団の中での課題を捉え、それぞれ目標を設定し達成に向けて支援をしている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスばるひよし(児童発達支援)		公表日	令和6年12月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎朝ミーティングを行い、1日の流れや配慮する点、職員の担当や役割を確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	気になる点や改善点等はその日のうちに話をして情報共有をしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	療育後は必ず記録をとるようにしている。保護者からの相談や特記事項も記入するようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	支援計画の更新が近づく頃にモニタリングを行い見直しをしている。	
	21	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子供達が自分で選択して決定できるような声かけや支援方法を行っている。	
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	信頼関係がある職員や経験が豊富な職員が行くようにしている。	
	23	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	希望者に対し園訪問を行い連携をとっている。	
	24	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	電話や直接話をする等、情報共有を行っている。	
	25	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	必要に応じて行っている。	
	26	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	27	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	療育後は必ず伝えをし、様子や見えた課題、成長した姿、頑張り等を話している。活動後の伝えの場を大切にしている。	
	28	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	定期的に行っている。	
保護者への説明等	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約の時や変わった場合に説明をしている。	
	30	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者にニーズを書いてもらう用紙を配付している。必要に応じて直接話をしたりもしている。	
	31	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	個別に時間を設け説明をしている。	
	32	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者の思いや気持ちをしっかり受け止め、一緒に考えたり関わり方を提案したりしている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	職員間で情報共有し、どのように対応していくのか明確にする。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	ホームページを定期的に更新したり、新聞を作成し事業所での活動を紹介したりしている。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	大切な書類は鍵のついたロッカーに保管している。事業所から持ち出さない。		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童デイサービスばるひよし(児童発達支援)				公表日	令和6年12月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	わかりやすく丁寧に伝えるよう心がけている。	
非常時等の対応	37	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	38	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に行っている。その都度大切な約束を確認している。	
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	職員で情報共有している。	
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	一覧表にまとめている。	
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	怪我がないよう環境設定や安全点検を行っている。	
	42	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	怪我をした時の対応の流れは保護者に説明している。	
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	報告書を作成している。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的な研修会が設けてある。	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		